

担当業務		学級担任等	学級担任補佐等	専門職員
指針における5つの柱 観点 キーワード		学級担任・預かり保育の担任など、集団指導の主査としての役割を担う者	学級での保育や預かり保育・延長保育などの補佐にあたる者(子育て支援員など、保育士資格等をもっていない者も含む)	専門的な技能を生かして保育の補佐や幼児の園生活の支援を行う者(看護師、栄養士、調理員など)
		保育者としての必要な基礎的素養・指導技術を習得するとともに、教育・保育目標のもと、職員の一員として協働しながら、学級経営等における実践的指導力を身に付ける。	保育者としての必要な基礎的素養・指導技術を習得するとともに、教育・保育目標のもと、職員の一員として学級担任等と協働しながら、実践的指導力を身に付ける。	担当業務における専門的な技術及び園業務にあたる者としての必要な基礎的素養を習得するとともに、教育・保育目標のもと、職員の一員として、業務を遂行する実践力を身に付ける。
職員に必要な素養に主として関するもの				
素養	豊かな人間性、創造力、寛容性、人権意識		よりよい社会の実現に向け、自他の価値を尊重し、自らの人間性や創造性を高めることができる。	
	前向きな姿勢、向上心、適応力		幼児教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続けることができる。	
	教育的愛情、幼児理解、判断力		幼児に対する深い理解と教育的愛情を有し、幼児の成長や発達を支援することができる。	
	専門的知識・技能、指導力、構想力		幼児教育に関する専門的知識・技能、実践的指導力を有し、幼児の主体的な活動を支援することができる。	
	社会性、協調性、コミュニケーション力		組織の一員として、園内外の多様な人材、家庭や地域、関係機関等と連携・協働を図ることができる。	
	使命感、責任感、倫理観		社会人としての倫理観、及び法令遵守の精神を有し、責任のある言動をとることができる。	
園運営・職員連携	健康・安全への対応	危機管理・安全対策	保育中の事故や災害等に関する安全への知識及び意識を高め、マニュアル等に則り、安全管理及び安全指導等、危機の未然防止に努めている。	
		感染症対策・衛生管理	健康状態や発育・発達状態の把握に努め、適切な環境の維持及び衛生管理、感染症対策・疾病等への対応を行っている。	
		食育の推進	食育計画等に基づき、生活や遊びの中で意欲をもって食に関わる体験を行うとともに、食物アレルギー等への適切な対応をしている。	
	子育ての支援	保護者への子育ての支援	保育の専門家として保護者の相談に応じるなど、保護者の主体性や自己決定を尊重しながら信頼関係を築いている。	職務の専門性を生かして子育ての情報を提供したり、保護者の相談に応じたりするなど、保護者や地域社会等と積極的に関わっている。
		地域における子育ての支援	地域における子育てのセンター的機能について理解し、情報提供や相談に対応するなど、保育の専門家として地域の子育ての支援に関わっている。	
	組織として連携・協働	チームマネジメント(分掌業務・同僚性)	職員の一員としての役割や責任を自覚し、管理職及び職員との連携のもと、主体的に職務を遂行している。	専門職員としての役割や責任を自覚し、職務を遂行するとともに、職員の一員として主体的に地域社会や関係機関との連携を図っている。
		地域社会や関係機関との連携・協働	地域社会や関係機関との連携の必要性を理解するとともに、協力を得ながら保育を実践している。	
		業務改善 ICT等による業務の効率化	働き方改革の目的を理解し、ICTの効果的な活用等による業務の効率化を進めている。教育・保育目標の達成に向けて管理職及び同僚と協働しながら取り組むとともに、取組の継承を意識しながら業務を遂行している。	
幼児理解に主として関するもの				
幼児理解	幼児の発達等の理解	幼児の発達・理解 幼児の興味・関心の把握 幼児のよさや可能性等の理解	幼児の興味・関心、よさや可能性等の把握に努めるとともに、一人一人の発達に必要な体験を考えている。	積極的に幼児に関わり、職務の専門性を生かしながら幼児の興味・関心等を把握するとともに、一人一人のよさや可能性等について保育者と共有している。
	幼児理解に基づいた学級経営	一人一人に寄り添った関わり 発達に応じた集団づくり	幼児理解をもとに信頼関係を築くとともに、友達と関わりながら安心して自己発揮できる集団づくりに努めている。	
保育実践に主として関するもの				
保育実践	教育・保育目標に基づいた指導計画等の作成	幼児の発達・接続・地域資源等を考慮した指導計画の作成・作成支援及び共有	教育・保育目標のもと、職員と連携し、発達・接続・地域資源等を考慮した指導計画を作成し、共有している。	専門分野についての情報提供や助言を行ったり、専門知識を生かした環境整備を行ったりするなど、専門性を生かして保育内容や環境の改善等に積極的に関わっている。
	幼児理解や指導計画に基づいた保育の実践	環境の構成の工夫 教材研究 多様な経験の確保 主体性が発揮できる保育展開	指導計画をもとに環境の構成の工夫や教材研究に努め、主体性を発揮できる保育を職員と連携して行っている。	
	幼児理解・指導計画に基づいた評価の実施	記録等を生かした評価 指導計画の改善	記録等から幼児の発達や自らの指導を振り返り、ねらい及び内容・環境の構成等について検討し、指導計画の改善に生かしている。	
特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応に主として関するもの ※ は、「幼児理解」「保育実践」を個に応じて行うものとして位置づけたもの				
幼児理解	特別な配慮や支援を必要とする幼児への理解と支援	幼児の実態(特性や教育的ニーズ)の把握 「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等の作成・作成支援及び共有 実態等に応じた指導・支援	幼児の実態について把握し、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等を作成して職員と共有するとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた生活上の指導・支援を行っている。	「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」等を理解し、担任等と連携しながら幼児や保護者に寄り添った指導・支援を行っている。
ICTや情報・教育データの利活用に主として関するもの ※ は、「幼児理解」「保育実践」「特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応」をより効果的に行うための手段として位置づけたもの				
保育実践	ICTや情報・教育データの利活用	ICTの業務等への活用 ICTの活用による教育実践や子どもの学びの見える化 情報・教育データの活用	ICT活用の意義を理解し、ICTの活用に関する基礎的な知識・技能を習得して保育や業務等に活用しようとしている。	

※「保育者」とは、幼稚園・認定こども園・保育所等に勤務する幼稚園教諭、保育教諭、保育士等の総称を示す。

※「園」とは、幼稚園・認定こども園・保育所等の総称を示す。

※「幼児教育」とは園種や設置者の違いに関わらず、全ての乳幼児を対象とした教育・保育を示す。

※「幼児」とは、施設種に限らず、県内幼児教育・保育施設における全ての乳幼児のことを示す。

※「職員」とは、正規職員・会計年度任用職員・臨時職員(パート職員も含む)・専門職員(看護師・栄養士・調理員等)を含めた園内すべての者を示す。

※採用年数に限らず、保育経験年数や園における業務職務内容等に応じて、指標とするステージは園内で判断する。

